

事業シート(令和3年度決算)

25\_林務課\_1

事業名	21700 地籍調査事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	2	総務費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出		
			項	1	総務管理費		根拠計画		森林整備計画、過疎地域持続的発展計画		
			目	18	地籍調査費						
担当課	林政部 林務課	内線	2631								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・土地の実態の正確な把握と地籍の明確化により森林整備を円滑に行うとともに、境界紛争の未然防止に資する。	概要	・一筆ごとの土地について、その所有者、地番、地目の調査並びに境界及び地籍に関する測量を行い、その成果を地図(地籍図)及び簿冊(地籍簿)にまとめる。 ・調査の成果(地籍図、地籍簿)を法務局に送付し、登記簿の修正と不動産登記法第14条の地図整備を行う。
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
木材生産量	88,342m <sup>3</sup>	算出中	149,000m <sup>3</sup>
伐採された木材の利用率	61%	算出中	50%
地籍調査実施面積	21,122ha	21,601ha	24,881ha

2.事業の実施結果等(Do)

		R2			R3			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
		197,166	165,441	161,066	191,066	139,159	△ 26,282	
特定財源	国費( )							
	県費(地籍調査事業費 3/4)	145,650	121,254	120,000	142,062	102,315	△ 18,939	
	その他( )							
一般財源		51,516	44,187	41,066	49,004	36,844	△ 7,343	
個票枝番	主な事業内容							
	測量等委託	196,000	164,463	160,000	190,000	138,266	△ 26,197	

4.令和4年度予算編成(Action)

		R4予算		実施計画額	160,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)		
157,917	157,862	157,862	△ 3,204		
117,748	117,000	117,000	△ 3,000		
40,169	40,862	40,862	△ 204		
査定額	説明				
157,000	地籍調査測量				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	・地籍調査事業量(換算面積) 8.02km <sup>2</sup> (高山地域3.80km <sup>2</sup> 丹生川地域0.27km <sup>2</sup> 清見地域0.21km <sup>2</sup> 久々野地域0.53km <sup>2</sup> 朝日地域0.72km <sup>2</sup> 国府地域1.26km <sup>2</sup> 上宝地域1.23km <sup>2</sup> )
評価等	・着実な事業実施に向けた財源の確保を念頭に、地域との調整を行っていく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定 ・国第七次十箇年計画に基づく地籍調査を推進し、進捗率を高める。

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	・地籍調査事業量(換算面積) 4.79km <sup>2</sup> (高山地域0.97km <sup>2</sup> 丹生川地域0.54km <sup>2</sup> 清見地域0.06km <sup>2</sup> 荘川地域0.03km <sup>2</sup> 久々野地域1.00km <sup>2</sup> 朝日地域1.54km <sup>2</sup> 高根地域0.09 国府地域0.15km <sup>2</sup> 上宝地域0.41km <sup>2</sup> )
評価等	・着実な事業実施に向けた財源の確保を念頭に、地域との調整を行っていく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定 ・国第七次十箇年計画に基づく地籍調査を推進し、進捗率を高める。

担当課 予算要求 ポイント	・第7次十箇年計画に基づく計画的な地籍調査の推進に必要な経費を計上
---------------------	-----------------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

25\_林務課\_1

21700

事業シート(令和3年度決算)

事業名	21810 森林づくり交流推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・高山市の保有する森林資源、自然資源(太陽、水、温泉、雪、他)などを活用し、原子力エネルギーに頼らない、自然エネルギー活用都市(飛騨高山モデル)の構築に努めます。
			款	2	総務費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出		
			項	1	総務管理費		森林整備計画、環境基本計画、過疎地域持続的発展計画				
			目	19	環境政策費		根拠計画				
担当課	林政部 林務課	内線	2235								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・都市部の自治体や企業等との交流を通じて森林保全を行うとともに、都市部での地元産材の利用拡大や二酸化炭素削減につなげる。	概要	・都市部の自治体や企業とのカーボンオフセット事業を推進するとともに、交流・連携を図る。 ・市産材の活用を促進するため、「みなとモデル二酸化炭素固定認証制度」の活用や都市部自治体等へのPRを図る。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
二酸化炭素(CO2)削減量(年間)	14.0万トン	算出中	12.4万トン

2.事業の実施結果等(Do)

		R2		R3			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		3,221	2,921	3,350	3,334	3,002	81
特定財源	国費( )						
	県費(森林づくり交流推進事業費 10/10)	1,700	1,763	2,760	2,760	2,649	886
	その他(カーボンオフセット事業費負担金)	400	554	120	120	135	△ 419
一般財源		1,121	604	470	454	218	△ 386
個票枝番	主な事業内容						
	千代田との協同による森づくり(カーボンオフセット)	3,071	2,871	3,200	3,200	2,918	47
	みなとモデル二酸化炭素固定認証制度の推進	150	50	150	134	84	34
	千代田区との連携協定による交流事業の開催						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

		R4予算		実施計画額		5,400
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)			
9,667	9,350	9,350	6,000			
5,576	5,450	5,450	2,690			
335	270	270	150			
3,756	3,630	3,630	3,160			
査定額	説明					
6,000						
50						
3,200						

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	・千代田区との協定による森林整備(保育間伐 8.41ha) ・港区へ高山市のプロモーション映像を提供
評価等	・千代田区との協定に基づく森林整備については、森林の生育状況を考慮し、適切な森林整備によるカーボンオフセット事業を進める。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・千代田区との協定の継続と、CO2吸収量の拡大を図るため森林整備事業地拡大や市産材の活用など多様な交流の展開等、協定内容の見直しを進める。</li> <li>・みなとモデル二酸化炭素固定認証制度における市内木材供給の拡大につながる取り組みを進める。</li> <li>・他の自治体との新たな連携を促進する。</li> </ul> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	・千代田区との協定による森林整備(保育間伐 9.50ha)
評価等	・千代田区との協定に基づく森林整備については、森林の生育状況を考慮し、適切な森林整備によるカーボンオフセット事業を進める。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・千代田区との協定の継続と、市産材の活用など多様な交流の展開等、協定内容の見直しを進める。</li> <li>・みなとモデル二酸化炭素固定認証制度における市内木材供給の拡大につながる取り組みを進める。</li> <li>・既に交流のある自治体との連携を促進する。</li> </ul> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・都市部との連携による森林整備、交流イベント及び市産材の利用促進に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和3年度決算)

事業名	21830 匠の家づくり支援事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・飛騨・高山の農林畜産産品のブランド化をメイド・バイ飛騨高山認証制度なども活用しながら強化するとともに、トップセールスによる市場開拓、市場拡大を目指します。
			款	2	総務費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出		
			項	1	総務管理費		根拠計画		森林整備計画、過疎地域持続的発展計画		
			目	19	環境政策費						
担当課	林政部 林務課	内線	2632								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市産材を使用した木造建築を促進し、市産材の利用拡大を図る。	概要	・木造建築物の主な構造材への市産材の使用に対する補助 ・産直住宅建設促進事業者の活動への補助 ・県産直住宅協会への負担金
----	--------------------------------	----	--

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
伐採された木材の利用率	61%	算出中	50%
市産材使用量	1,964m3/年	2,542m3/年	2,000m3/年

2.事業の実施結果等(Do)

		R2		R3			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		45,570	45,246	50,950	85,950	80,593	35,347
特定財源	国費 (匠の家づくり支援事業費 10/10)				54,000	49,000	49,000
	県費 (匠の家づくり支援事業費 1/2)	250	250	250	250		△ 250
	その他(ふるさと基金繰入金)	600	600				△ 600
一般財源		44,720	44,396	50,700	31,700	31,593	△ 12,803
個票枝番	主な事業内容						
	匠の家づくりに対する助成	37,870	40,078	45,250	78,250	73,595	33,517
	東濃検と飛騨の杉の家づくり支援事業	7,000	4,468	5,000	7,000	6,511	2,043
	高山・中津川林業・木材産業連携協議会負担金	500	500	500	500	286	△ 214

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

		R4予算	実施計画額	38,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
46,200	44,700	44,700	△ 6,250	
250	250	250	0	
45,950	44,450	44,450	△ 6,250	
査定額	説明			
37,750	補助対象、補助上限額の見直し			
6,000				
500				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	・匠の家づくり支援事業 高山市匠の家づくり支援事業補助金 (建築主市内建築型) 88棟 (市外建築型) 31棟 ※令和2年9月1日から令和4年3月31日まで補助内容の拡充(市産材使用量1㎡あたり2万円を4万円に、補助上限を新築50万円から100万円・増改築20万円を40万円に拡充) 東濃検と飛騨の杉の家づくり支援事業補助金 (中津川市連携事業) 52棟(市産材226㎡) 産直住宅建設促進事業補助金
評価等	・本事業により、市産材の利用拡大が実現し、市内の林業・木材産業・建築業の活性化が図られている。 ・中津川連携事業は、前年度の実績を上回ったものの、近年伸び悩んでいる。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	・匠の家づくり支援事業 匠の家づくり支援事業補助金 (建築主市内建築型) 119棟 (市外建築型) 24棟 ※令和2年9月1日から令和4年3月31日まで補助内容の拡充(市産材使用量1㎡あたり2万円を4万円に、補助上限を新築50万円から100万円・増改築20万円を40万円に拡充) 東濃検と飛騨の杉の家づくり支援事業補助金 (中津川市連携事業) 59棟(市産材336㎡)
評価等	・本事業により、市産材の利用拡大が実現し、市内の林業・木材産業・建築業の活性化が図られている。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・市産材利用の需要喚起に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和3年度決算)

25\_林務課\_4

事業名	53100 林道管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出		
			項	3	林業費		根拠計画		森林整備計画、過疎地域持続的発展計画		
			目	1	林業総務費						
担当課	林政部 林務課	内線	2234								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・林道の計画的な維持・修繕を図る。	概要	・林道パトロール等を通じて林道破損箇所の情報を集め、修繕を行う。
----	-------------------	----	----------------------------------

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
木材生産量	88,342m <sup>3</sup>	算出中	149,000m <sup>3</sup>
伐採された木材の利用率	61%	算出中	50%

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R2		R3				
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	35,625	34,071	26,289	26,289	24,490	△ 9,581	
特定財源							
国費( )							
県費( 県移譲事務交付金 )	211	212	212	212	237	25	
その他( 敷地占用料 )	120	134	120	120	310	176	
一般財源	35,294	33,725	25,957	25,957	23,943	△ 9,782	
個票枝番	主な事業内容						
	林道の修繕工事	30,000	28,772	20,000	20,000	18,539	△ 10,233
	林道の維持管理	3,000	2,834	3,000	3,000	2,840	6
	林業振興アドバイザーの設置			360	360	360	360

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

(千円)

R4予算		実施計画額		36,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
36,250	26,192	26,192	△ 97	
212	237	237	25	
160	160	160	40	
35,878	25,795	25,795	△ 162	
査定額	説明			
20,000				
3,000				
360				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	・林道修繕工事 31件 ・林道管理委託 20件
評価等	・定期的な林道パトロールにより、計画的な維持・修繕を図ることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	・林道の適正な管理のため、継続して修繕を行う。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	・林道修繕工事 23件 ・林道管理委託 19件
評価等	・定期的な林道パトロールにより、計画的な維持・修繕を図ることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	・林道の適正な管理のため、継続して修繕を行う。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・適正な林道管理に必要な経費を計上
---------------------	-------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

25\_林務課\_4

53100

事業シート(令和3年度決算)

事業名	53200 市有林整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出		
			項	3	林業費		根拠計画		森林整備計画		
			目	2	林業振興費						
担当課	林政部 林務課	内線	2233								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市の基本財産の造成、地域林業の振興、国土の保全等を図る。	概要	・市有林を適正に管理するため、集約化・森林経営計画に基づき、間伐等の施策を計画的に実施する。 ・市有林を活用し、建設業者等の利用間伐に対する森林施業技術の向上を図る。
----	-------------------------------	----	--

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
木材生産量	88,342m <sup>3</sup>	算出中	149,000m <sup>3</sup>
伐採された木材の利用率	61%	算出中	50%

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R2		R3				
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	19,520	14,891	13,400	13,400	12,405	△ 2,486	
特定財源							
国費 ( )							
県費 ( 市有林整備事業費 10/10 )	10,600	7,502	3,000	3,000	2,317	△ 5,185	
その他( 物品売払収入、市有林整備事業雑入等 )	2,560	2,461	1,010	1,010	2,302	△ 159	
一般財源	6,360	4,928	9,390	9,390	7,786	2,858	
個票枝番	主な事業内容						
	市有林の整備工事	15,900	11,550	9,800	9,800	8,943	△ 2,607

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

(千円)

R4予算		実施計画額		20,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
13,308	12,910	12,910	△ 490	
3,690	3,600	3,600	600	
2,701	1,670	1,670	660	
6,917	7,640	7,640	△ 1,750	
査定額	説明			
9,300	保育間伐ほか			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	・間伐 27.78ha (高山 12.71ha, 高根 15.07ha) ・作業道修繕 3件	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定
評価等	・適正な施業により、基本財産の造成、地域林業の活性化が図られた。	
次年度以降の考え方(担当課)	・市有林の適正な管理方法について、市有林の管理・利用業務の林業事業者等への長期委託を進める。 ・業務に必要な費用は事業者により確保(国補助金や支障木の売払い)することとし、業務遂行により発生する関係者との連絡調整、進捗管理等を通して、適正な森林管理に必要な人材の育成を図る。	

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	・間伐 8.31ha (一之宮) ・造林工事 2件 ・作業道修繕 4件	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定
評価等	・適正な施業により、基本財産の造成、地域林業の活性化が図られた。	
次年度以降の考え方(担当課)	・市有林の適正な管理方法について、市有林の管理・利用業務の林業事業者等への長期委託を進める。 ・業務に必要な費用は事業者により確保(国補助金や支障木の売払い)することとし、業務遂行により発生する関係者との連絡調整、進捗管理等を通して、適正な森林管理に必要な人材の育成を図る。	

担当課 予算要求 ポイント	・適正な市有林管理に必要な経費を計上
---------------------	--------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和3年度決算)

事業名	53210 緑の保全事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出		
			項	3	林業費		根拠計画		森林整備計画		
			目	2	林業振興費						
担当課	林政部 林務課	内線	2632								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・必要な森林施業を適切に実施することにより、森林を健全な状態に保ち、水源かん養機能の向上や木材利用の促進、災害に強い森林づくりを促進する。	概要	・間伐などの国・県が所管する造林補助事業に、嵩上げて助成 ・間伐材の搬出利用を促進するため、市場等までの運搬費に対して助成 ・国県制度において、補助対象とならない規模の小さい森林施業に対して、市単独事業により助成
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
木材生産量	88,342㎡	算出中	149,000㎡
伐採された木材の利用率	61%	算出中	50%
市補助を活用した間伐材搬出量	13,900m <sup>3</sup> /年	10,600m <sup>3</sup> /年	12,000m <sup>3</sup> /年
市補助を活用した未利用材搬出量	11,800m <sup>3</sup> /年	8,200m <sup>3</sup> /年	12,000m <sup>3</sup> /年

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R2		R3				
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	70,000	69,824	69,800	69,800	58,981	△ 10,843	
特定財源							
国費 (緑の保全事業費 1/2)	1,200	1,200	1,200	1,200	1,600	400	
県費 (緑の保全事業費 1/2)	7,300	5,534	5,600	5,600	2,747	△ 2,787	
その他(ふるさと基金繰入金、緑の基金収入)	38,217	37,867	2,725	2,725	1,645	△ 36,222	
一般財源	23,283	25,223	60,275	60,275	52,989	27,766	
個票枝番	主な事業内容						
	間伐に対する助成	18,000	14,060	21,700	21,700	16,665	2,605
	間伐材利用に対する助成	15,000	20,941	13,500	13,500	15,984	△ 4,957
	未利用資源活用に対する助成	23,000	26,701	23,000	23,000	19,427	△ 7,274
	自伐林家型の森林整備に対する助成	7,000	4,840	5,000	5,000	1,579	△ 3,261

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

(千円)

R4予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
66,300	66,100	66,100	△ 3,700
1,600	1,600	1,600	400
5,648	5,600	5,600	0
1,475	2,508	2,508	△ 217
57,577	56,392	56,392	△ 3,883
査定額	説明		
19,300			
12,000			
21,000			
5,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・間伐事業 222.160ha</li> <li>・間伐作業道開設事業 838.6m</li> <li>・軽作業道開設事業 1,500m</li> <li>・間伐材利用促進事業 13,963.660㎡</li> <li>・未利用資源活用促進事業(集運型 11,852.615㎡)、(買取型 1,000㎡)</li> <li>・自伐林家型地域森林整備事業 14.79ha、L=96.3m</li> <li>・人工造林 4.59ha</li> <li>・下刈 4.98ha</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定
評価等	・前年度開設した作業道を活用して、間伐事業が拡大された。	
次年度以降の考え方(担当課)	・緑の保全事業を継続することで、高山市森林整備計画に示す「みんなで考え、生かす森林づくり」を進め、経営意欲の喚起等の積極的な支援を進める。 ・広葉樹施業促進のため、県が開催する研修会への参加などによる森林所有者や事業者への技術指導や普及啓発等を行う。	

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・間伐事業 233.02ha</li> <li>・間伐作業道開設事業 7,855m</li> <li>・軽作業道開設事業 2,000m</li> <li>・間伐材利用促進事業 10,659.987㎡</li> <li>・未利用資源活用促進事業(集運型 8,291.082㎡)、(買取型 950㎡)</li> <li>・自伐林家型地域森林整備事業 4.95ha</li> <li>・下刈 4.59ha</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定
評価等	・作業道を高密度に開設し、作業の効率化、間伐材の搬出、利用促進が図られた。	
次年度以降の考え方(担当課)	・緑の保全事業を継続することで、高山市森林整備計画に示す「みんなで考え、生かす森林づくり」を進め、経営意欲の喚起等の積極的な支援を進める。 ・広葉樹施業促進のため、県が開催する研修会への参加などによる森林所有者や事業者への技術指導や普及啓発等を行う。	

担当課 予算要求 ポイント	・森林整備の促進に必要な経費を計上
---------------------	-------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和3年度決算)

事業名	53230 林業担い手育成事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費		まちづくり戦略	(2)	地域産業の担い手確保と生産性の向上		
			項	3	林業費		根拠計画		森林整備計画、過疎地域持続的発展計画		
			目	2	林業振興費						
担当課	林政部 林務課	内線	2235								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>魅力ある林業の情報発信や新規就業者の研修制度活用などによる森林技術者の育成確保を図る。</li> <li>地域の森林づくりを担う林業グループを育てる。</li> <li>美しい森林づくりイベントの実施による森林・林業への意識の醸成を図る。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>林業グループの自主的な調査・研究活動等に要する経費に対して助成する。</li> <li>高山市美しい森林づくり実行委員会による講演会及び研修会等を開催する。</li> <li>高山市における林業等の担い手の確保・育成。</li> </ul>
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
森林技術者数	175人	算出中	200人

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R2		R3				
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	2,354	1,669	4,850	3,150	2,800	1,131	
特定財源							
国費( )							
県費( 林業改良普及事業費 1/2、林業就業移住支援事業費 3/4 )	350	150	1,850	1,850	2,000	1,850	
その他( 森林環境整備基金繰入金 )	1,350	1,073				△ 1,073	
一般財源	654	446	3,000	1,300	800	354	
個票枝番	主な事業内容						
	林業グループ活動に対する支援	700	300	700	700	100	△ 200
	森林技術者の育成確保	304	296	300	300	0	△ 296
	林業就業の促進	1,350	1,073	350	150	100	△ 973
◎ 1	林業担い手学生支援事業			1,500	0	0	
◎ 2	林業就業移住支援事業			2,000	2,000	2,600	2,600

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

(千円)

R4予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
4,930	4,850	4,850	0
1,850	1,850	1,850	0
3,080	3,000	3,000	0
査定額	説明		
700			
300	就業体験ツアーの実施		
350	森林就業ガイダンス		
1,500	県立森林アカデミー学生に対する助成		
2,000	林業就業移住者に対する助成		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>当初、林業グループ6団体の活動事業への支援を行ったが、うち3団体は新型コロナウイルス感染拡大の影響により活動事業ができず支援取り下げとなった。</li> <li>高山市美しい森林づくり実行委員会の活動により、林業就業促進ツアーを開催した。</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>林業グループの活動(種子採取、育苗からポット苗植林、間伐などの造林技術)により、林業後継者育成、森林所有者と市民等の交流等が図られた。</li> <li>林業就業促進ツアー参加者が市内の林業事業者へ就業するなど効果があった。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林所有者の意識向上や森林技術者の育成確保を図るため、引き続き林業グループの活動支援や高山市美しい森林づくり実行委員会による林業就業移住につながるイベントの開催及び普及啓発を行う。</li> <li>移住による林業就業への支援や、岐阜県立森林文化アカデミーの学生への修学支援などにより林業の担い手確保を図る。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>当初、林業グループ6団体の活動事業への支援を行ったが、うち5団体は新型コロナウイルス感染拡大の影響により活動事業ができず支援取り下げとなった。</li> <li>高山市美しい森林づくり実行委員会の活動により、林業就業促進ツアーを開催した。</li> <li>高山市の林業事業者へ就業した移住者3名に支援を行った。</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>林業グループの活動(キノコの植菌、薪づくり)により、林業後継者育成、森林所有者と市民等の交流等が図られた。</li> <li>林業就業促進ツアー参加者が市内の林業事業者へ就業するなど効果があった。</li> <li>市内で不足する森林技術者の確保に効果があった。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林所有者の意識向上や森林技術者の育成確保を図るため、引き続き高山市美しい森林づくり実行委員会による林業就業移住につながるイベントの開催及び普及啓発を行う。</li> <li>移住による林業就業への支援や、岐阜県立森林文化アカデミーの学生への修学支援などにより林業の担い手確保を図る。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R3完了
- R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内小中高生が将来林業に就業するきっかけづくりに必要な経費を計上</li> <li>市内林業及び木工産業等に携わる人材の確保に必要な経費を計上</li> <li>移住による市内林業事業者等への就業促進や森林技術者の確保に必要な経費を計上</li> </ul>
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

主要事業個票(令和3年度決算)

事業名	53230 林業担い手育成事業費	区分	<input type="checkbox"/> R2新規	<input checked="" type="checkbox"/> R3新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	林政部林務課
枝番・内容	1 林業事業体及び木工業、建築業など木や森に関わる担い手確保		<input type="checkbox"/> R2拡充	<input type="checkbox"/> R3拡充		款	5	農林水産業費		
			<input type="checkbox"/> その他重要事業			項	3	林業費	内線	2235
			<input type="checkbox"/>			目	2	林業振興費	作成年月	R4.7

事業の目的・概要(Plan)

目的	岐阜県立森林文化アカデミーと高山市は、将来の高山市の林業等を担う人材の移住定住を促進させるため、移住を希望する学生に資金を助成し、これにより不足している森林技術者等を確保するよう促す。	概要	岐阜県立森林文化アカデミーと高山市は、新たな連携協定に基づき岐阜県森林文化アカデミーの持つ人材育成・教育・学術研究などの機能を活用し、森林組合を始めとした林業事業体や、木工業、建築業など森林・林業・木材建築等に関わる将来の高山市の産業を担う人材の移住定住を促進させるため、移住を希望する学生に資金を助成するもの。
----	--	----	--

【参考】R2決算(Do-Check) R3.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

【参考】R3当初予算(Action) R3.3時点 (千円)

予算額	当初	1,500
主な経費	高山市林業担い手学生支援事業補助金	
対前年度増減額(当初予算)		1,500

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R3決算(Do-Check) R4.8時点 (千円)

予算額	当初	1,500
	繰越	
	補正等	△ 1,500
	最終	0
決算額		0
対前年度増減額(決算)		0

R4当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	1,500
主な経費	高山市林業担い手学生支援事業補助金	
対前年度増減額(当初予算)		0

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	<p>岐阜県立森林文化アカデミーの在学中で、将来高山市へ移住し、林業事業体や、木工業、建築業などの就業を希望する者に学費等を支援し、人材の確保及び移住を促進させるため、希望する学生に資金を助成するもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助対象:入学金、授業料、装備品、資格取得費用等</li> <li>・就学条件:卒業後、高山市内に3年以上就業等すること</li> <li>・支援金額:500千円/年・人</li> </ul>
[スケジュール]	<p>年間 補助金申請 補助金支払い 3月 実績報告書提出</p>

事業実績・評価等	
[事業実績]	なし
[評価等]	<p>当該補助を希望する学生は、県の給付金を受けていたり、将来、高山市での就業が決まっていない等の理由により、活用がなかった。 県の給付金の対象となり、当補助金は対象外となったが、市内林業事業体に2人の学生が就業された。</p>
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	<p>岐阜県立森林文化アカデミーの在学中で、将来高山市へ移住し、林業事業体や、木工業、建築業などの就業を希望する者に学費等を支援し、人材の確保及び移住を促進させるため、希望する学生に資金を助成するもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助対象:入学金、授業料、装備品、資格取得費用等</li> <li>・就学条件:卒業後、高山市内に3年以上就業等すること</li> <li>・支援金額:500千円/年・人</li> </ul>
[スケジュール]	<p>年間 補助金申請 補助金支払い 3月 実績報告書提出</p>

主要事業個票(令和3年度決算)

事業名	53230 林業担い手育成事業費	区分	<input type="checkbox"/> R2新規	<input checked="" type="checkbox"/> R3新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	林政部林務課
枝番・内容	2 林業就業移住支援事業補助金		<input type="checkbox"/> R2拡充	<input type="checkbox"/> R3拡充		款	5	農林水産業費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		3	林業費	内線	2235	
		<input type="checkbox"/>		目		2	林業振興費	作成年月	R4.7	

事業の目的・概要(Plan)

目的	令和2年度県が新設した「岐阜県林業就業移住支援事業」を活用し、県外からの林業就業者の移住を促進させる。	概要	県は令和2年度から林業就業のため県外から移住する者に対し、単身者60万円、世帯100万円を支給する支援を開始。この補助金の負担割合は県3/4、市町村1/4である。そのため、県制度に合わせて、市は同制度の負担分を予算措置して、林業の担い手を確保する。
----	---	----	--

【参考】R2決算(Do-Check) R3.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

【参考】R3当初予算(Action) R3.3時点 (千円)

予算額	当初	2,000
主な経費	林業就業移住支援事業補助金	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R3決算(Do-Check) R4.8時点 (千円)

予算額	当初	2,000
	繰越	
	補正等	
	最終	2,000
決算額		2,600
対前年度増減額(決算)		2,600

R4当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	2,000
主な経費	林業就業移住支援事業補助金	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	県+市 補助金額 単身 600千円、世帯 1,000千円 市負担金 250千円×2世帯分=500千円 年間2世帯分を計上
[スケジュール]	補助金交付までの流れ ① 県登録の林業事業者へ就業 3カ月以上経過 ② 移住先の市町村へ就業移住支援金の申請 ③ 支援金支給

事業実績、評価等	
[事業実績]	高山市の林業事業者体に就業した移住者3名(単身1、世帯2)に支援を行った。
[評価等]	移住による森林技術者の確保につながった。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	県+市 補助金額 単身 600千円、世帯 1,000千円 市負担金 250千円×2世帯分=500千円 年間2世帯分を計上
[スケジュール]	



事業シート(令和3年度決算)

事業名	53250 生活環境保全林管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	・国立公園、県立自然公園、白山ユネスコエコパーク、ジオパーク構想(地球科学的にみて重要な自然遺産を含む、自然と親しむための公園)などを活用し、自然環境の保全意識向上と自然とふれあう機会を充実します。	
			款	5	農林水産業費		まちづくり戦略	(3)	地域特性の保全と活用、創出			
			項	3	林業費		根拠計画		森林整備計画、過疎地域持続的発展計画			
			目	2	林業振興費							
担当課	林政部 林務課	内線	2632									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・保健・保全機能の発揮される森林の整備をすとも、森林の植生観察等を通じ、情操のかん養及び自然保護思想の高揚を図り、自然と共生する地域づくりに寄与し山林を市民の財産として将来に継承する。	概要	・生活環境保全林の活用による森林・林業への意識の醸成 ・生活環境保全林の整備による自然とふれあう場の整備
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
「地元の木材が広く利用され、林業・木材産業が活性化している」と感じている市民の割合	31.9	39.6	↗

2.事業の実施結果等(Do)

		R2		R3			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		15,381	13,575	15,501	15,501	7,819	△ 5,756
特定財源	国費( )						
	県費( 観光景観林・集落環境整備補助金 1/2、10/10 )	9,900	8,655	10,830	10,830	3,300	△ 5,355
	その他( )						
一般財源		5,481	4,920	4,671	4,671	4,519	△ 401
個票枝番	主な事業内容						
	施設の維持管理	4,981	4,315	5,501	5,501	5,327	1,012
	施設の修繕	400	0				
	観光景観林整備	10,000	9,260	10,000	10,000	2,492	△ 6,768

4.令和4年度予算編成(Action)

		R4予算		実施計画額		15,400
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)			
37,588	25,671	25,671	10,170			
18,949	14,850	14,850	4,020			
18,639	10,821	10,821	6,150			
査定額	説明					
4,671						
11,000						
10,000	せせらぎ街道沿道修景					

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活環境保全林の利用者数 77,111人</li> <li>遊歩道等施設のある生活環境保全林(清見3箇所、荘川1箇所、朝日1箇所、高根1箇所、国府1箇所)について、利用者の安全を確保するため、定期的な点検や草刈り等の維持管理を行った。</li> <li>施設の修繕(清見:あずまや屋根、荘川:屋外トイレプロア、朝日:木橋修繕)</li> <li>観光景観林整備(除間伐 17.97ha)</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊歩道の管理や施設の修繕等による適正な管理により、市民や観光客等に対し、安全に自然とふれあう場が提供できた。</li> <li>老朽化する施設を計画的に修繕を行う必要がある。</li> <li>利用者の増加に向けた普及啓発を強化する必要がある。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊歩道等の適切な維持管理を行う。</li> <li>計画的な施設の修繕を行う。</li> <li>観光景観林としての森林整備を行う。</li> </ul>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活環境保全林の利用者数 99,534人</li> <li>遊歩道等施設のある生活環境保全林(清見3箇所、荘川1箇所、朝日1箇所、高根1箇所、国府1箇所)について、利用者の安全を確保するため、定期的な点検や草刈り等の維持管理を行った。</li> <li>施設の修繕(荘川:公衆トイレ建具修繕)</li> <li>観光景観林整備(除間伐 7.61ha)</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊歩道の管理や施設の修繕等による適正な管理により、市民や観光客等に対し、安全に自然とふれあう場が提供できた。</li> <li>老朽化する施設を計画的に修繕を行う必要がある。</li> <li>利用者の増加に向けた普及啓発を強化する必要がある。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊歩道等の適切な維持管理を行う。</li> <li>計画的な施設の修繕を行う。</li> <li>観光景観林としての森林整備を行う。</li> </ul>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・生活環境保全林の維持管理に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和3年度決算)

事業名	53260 100年先の森林づくり推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・百年先を見据えた森林整備、森林資源(樹液なども含む)やジビエなどを活用した新たな商品開発などを民間事業者や大学などと連携しながら進めます。
			款	5	農林水産業費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出		
			項	3	林業費	根拠計画	森林整備計画、過疎地域持続的発展計画				
			目	2	林業振興費						
担当課	林政部 林務課	内線	2631								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	木材生産区域、環境保全区域、観光景観区域、生活環境区域の4つに分けた市内の民有林について、それぞれの区域ごとに100年後の望ましい姿に向けた森林づくりについて、森林環境譲与税などの活用により実施	概要	・森林施業の実施に不可欠な森林の現況調査、境界の明確化、作業路の改良に係る経費に対する補助。 ・森林環境譲与税を活用した森林情報管理システムのデータ整備及び意向調査の実施、森林経営管理の推進支援、境界の明確化の実施
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
木材生産量	88,342㎡	算出中	149,000㎡
森林境界調査事業実施面積	266ha	546ha	1,600ha
森林経営管理制度に基づき市が実施した森林整備面積	-	-	650ha

2.事業の実施結果等(Do)

		R2		R3			
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		92,690	72,960	177,890	98,140	97,843	24,883
特定財源	国費( )						
	県費( 森林整備地域活動支援事業費 3/4 地域森林管理士活用事業 23/100 )	7,545	894	2,250	2,250	3,888	2,994
	その他( 森林環境整備基金繰入金 )			24,650			
一般財源		85,145	72,066	150,990	95,890	93,955	21,889
個票枝番	主な事業内容						
	森林整備地域活動支援事業補助	10,000	694	3,000	3,000	3,000	2,306
	森林経営管理アドバイザー等の配置	29,000	26,213	29,000	25,050	24,885	△ 1,328
	森林管理情報のシステム構築	23,600	23,100	24,000	15,000	14,938	△ 8,162
◎ 1	森林境界明確化の推進	30,000	22,880	84,000	21,500	21,505	△ 1,375
◎ 2	森林整備の推進			37,300	33,500	33,441	33,441
	市民等との協働による森林整備の促進、林業・森林の普及啓発						
	作業道の修繕等に対する支援						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額		247,300
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
241,710	250,460	245,460	67,570	
3,618	3,600	3,600	1,350	
	56,850	51,850	27,200	
238,092	190,010	190,010	39,020	
査定額	説明			
1,880				
28,000				
24,000				
84,000				
92,000				
5,000	市民提案型森林づくり推進事業補助金等			
10,000	森林作業道維持修繕事業補助金			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協定締結者数 2団体</li> <li>・森林経営計画の作成促進、森林境界の確認及び測量等</li> <li>・森林情報管理システムのデータ作成編集</li> <li>・森林境界明確化事業 丹生川町板殿、国府町桐谷(173.00ha)</li> <li>・森林整備意向調査の実施(国府町)</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月豪雨災害の影響により、現地踏査が困難となる団地が発生し、事業の実績が減となった。</li> <li>・森林経営管理アドバイザー等により、森林環境譲与税の活用及び施策遂行を着実に推進している。</li> <li>・森林環境譲与税を活用した意向調査や境界明確化の推進により、災害に強い森林づくりのため、災害の恐れのある森林については早期の森林整備が必要である。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施後の森林経営計画の作成や、間伐等の実施を促進する。</li> <li>・森林環境譲与税を活用し、災害に強い森林づくりを行う。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協定締結者数 3団体</li> <li>・森林経営計画の作成促進、森林境界の確認及び測量等</li> <li>・森林情報管理システムのデータ整備</li> <li>・森林境界調査事業 滝町、丹生川町日面、国府町桐谷(280.00ha(換算面積10.00ha))</li> <li>・重点区域森林整備事業 79.05ha</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林経営管理アドバイザー等の配置により、森林環境譲与税を活用し、災害に強い森林づくりのため、災害の恐れのある森林の森林整備を実施した。</li> <li>・森林境界明確化については、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業拡大できなかった。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施後の森林経営計画の作成や、間伐等の実施を促進する。</li> <li>・森林環境譲与税を活用し、災害に強い森林づくりを行う。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R3完了
- R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害に強い健全な森林づくりに必要な経費を計上</li> <li>・市民等との協働による森林整備や木材利用の促進、林業・森林の普及啓発等に必要な経費を計上</li> </ul>
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積算内容を精査</li> <li>・森林作業道維持修繕事業補助金について、事業課とのヒアリングに基づき必要な金額を追加</li> </ul>
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民提案型森林づくり推進事業補助金等を10,000千円→5,000千円に変更</li> </ul>

## 主要事業個票(令和3年度決算)

事業名	53260 100年先の森林づくり推進事業費	区分	<input type="checkbox"/> R2新規	<input type="checkbox"/> R3新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	林政部 林務課
枝番・内容	1 森林境界明確化の推進		<input type="checkbox"/> R2拡充	<input checked="" type="checkbox"/> R3拡充		款	5	農林水産業費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		3	林業費	内線	2631	
		<input type="checkbox"/>		目		2	林業振興費	作成年月	R4.7	

## 事業の目的・概要(Plan)

目的	森林環境譲与税を活用して、100年先の森づくりに向けた森林管理を進める。	概要	森林環境譲与税を活用した境界の明確化にかかる経費
----	--------------------------------------	----	--------------------------

## 【参考】R2決算(Do-Check) R3.8時点 (千円)

予算額	当初	30,000
	繰越	
	補正等	
	最終	30,000
決算額		22,880
対前年度増減額(決算)		16,909

## 【参考】R3当初予算(Action) R3.3時点 (千円)

予算額	当初	84,000
主な経費	・森林境界明確化事業	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

## R3決算(Do-Check) R4.8時点 (千円)

予算額	当初	84,000
	繰越	
	補正等	△ 62,500
	最終	21,500
決算額		21,505
対前年度増減額(決算)		△ 1,375

## R4当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	84,000
主な経費	・森林境界調査委託料 65,000千円	
	・森林境界(施業境界)調査委託料 19,000千円	
対前年度増減額(当初予算)		0

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
[事業実績]	
・森林境界調査実施面積 125.00ha 丹生川地域 板殿 I 53.00ha 国府地域 桐谷 I 72.00ha	
[評価等]	
・所有者の森林整備に対する気運が高まった。	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
・森林境界調査事業 環境保全区域における森林境界の確認、境界測量 (予定:436ha)	
[スケジュール]	
6月 発注 3月 完了 通年 事業進捗状況確認	

事業実績・評価等	
[事業実績]	
・森林境界調査実施面積(換算面積) 280.00(10.00)ha 高山地域 岩滝 107.00(2.00)ha 丹生川地域 日面 101.00(2.00)ha 国府地域 桐谷 II 72.00(6.00)ha	
[評価等]	
・森林環境譲与税を活用し、災害に強い森林づくりのため、災害の恐れのある森林の境界調査を実施した。 ・新型コロナウイルスの影響により、地域説明会や所有者に対する座談会等が開催できず、事業拡大できなかった。	
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
・森林境界調査実施面積(換算面積) 環境保全区域における森林境界の確認、境界測量を行う。 丹生川地域 日面 101.00(12.00)ha 板殿 53.00(30.00)ha 国府地域 桐谷 I 120.00(66.00)ha 桐谷 II 72.00(40.00)ha	
・森林境界(施業境界)調査 森林経営管理法に定められている所有者への意向調査の実施に向けた準備として、簡易的な手法により森林境界の確認や測量を行う。 計画面積 500ha	

主要事業個票(令和3年度決算)

事業名	53260 100年先の森林づくり推進事業費	区分	<input type="checkbox"/> R2新規	<input checked="" type="checkbox"/> R3新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	林政部 林務課	
枝番・内容	2 100年先の森づくりに向けた森林管理		<input type="checkbox"/> R2拡充	<input type="checkbox"/> R3拡充		款	5	農林水産業費			
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		3	林業費	内線			2631
		<input type="checkbox"/>		目		2	林業振興費	作成年月			R4.7

事業の目的・概要(Plan)

目的	森林環境譲与税を活用して、100年先の森づくりに向けた森林管理を進める。	概要	市が、森林環境譲与税を活用して行う、重点区域森林整備にかかる経費
----	--------------------------------------	----	----------------------------------

【参考】R2決算(Do-Check) R3.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

【参考】R3当初予算(Action) R3.3時点 (千円)

予算額	当初	37,300
主な経費	・重点整備区域森林整備工事費	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R3決算(Do-Check) R4.8時点 (千円)

予算額	当初	37,300
	繰越	
	補正等	△ 3,800
	最終	33,500
決算額		33,441
対前年度増減額(決算)		33,441

R4当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	92,000
主な経費	・重点整備区域森林整備工事費	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	・住宅などに近い里山林のうち土砂災害の危険性が高い区域について、指標を設けて優先順位を判断し、豪雨、豪雪等の災害に対し安全性を高めるため、市が主導して森林整備を実施 間伐等森林整備 100ha
[スケジュール]	6月 発注 3月 完了 通年 事業進捗状況確認

事業実績・評価等	
[事業実績]	市内のレッド・イエローゾーン(土砂災害警戒区域等)に係る重点区域森林を抽出 15か所、79.05haの間伐を実施
[評価等]	・災害に強い森林づくりのため、手入れ不足の森林の解消が図れた。 ・切り捨て間伐を中心に事業を進めたが、林内の状況は様々で、状況に即した整備が必要であり、整備内容を拡大する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	重点区域森林整備事業 ・土砂災害の危険性が高い区域について、重点区域と指標を設けて優先順位を判断し、豪雨、豪雪等の災害に対し安全性を高めるため、市が主導して災害に強い森林整備を実施(間伐、危険木伐採、倒木処理等)
[重点区域森林整備工事費]	間伐 162ha 60,000千円 倒木処理 600本 9,000千円 作業道修繕 5箇所 5,000千円
[環境保全区域森林整備費]	間伐 50ha 18,000千円
[スケジュール]	6月 発注 3月 完了 通年 事業進捗状況確認

事業シート(令和3年度決算)

事業名	53300 分収造林整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出		
			項	3	林業費		根拠計画		森林整備計画、過疎地域持続的発展計画		
			目	3	分収造林費						
担当課	林政部 林務課	内線	2233								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・公的造林資本の導入により、森林資源を計画的に造成し、地域林業の振興、国土の保全等を図る。	概要	・公的造林資本による分収造林契約森林において、森林の現況調査により、間伐等の施策を実施する。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
木材生産量	88,342m <sup>3</sup>	算出中	149,000m <sup>3</sup>
伐採された木材の利用率	61%	算出中	50%

2.事業の実施結果等(Do)

		R2		R3			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		8,728	8,182	12,184	12,184	8,983	801
特定財源	国費( )						
	県費( 県環境保全林整備事業 )						
	その他( 分収造林事業受託収入 )	8,600	8,061	12,100	12,100	8,920	859
一般財源		128	121	84	84	63	△ 58
個票枝番	主な事業内容						
	分収造林の整備	8,600	8,061	12,100	12,100	8,920	859

4.令和4年度予算編成(Action)

		R4予算		実施計画額		20,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)			
24,638	24,088	24,088	11,904			
9,458	10,000	10,000	10,000			
14,146	14,000	14,000	1,900			
1,034	88	88	4			
査定額	説明					
24,000						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	・間伐等施策実施面積 13.12ha (荘川地域)
評価等	・森林の現況調査により、計画的な間伐等森林施策を実施することができた。 ・国立研究開発法人森林研究・整備機構(旧森林開発公社)分収造林地の効率的な管理を行うため、管理業務の等について検討する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	・間伐等施策実施面積 9.67ha (荘川地域)
評価等	・森林の現況調査により、計画的な間伐等森林施策を実施することができた。 ・国立研究開発法人森林研究・整備機構(旧森林開発公社)分収造林地の効率的な管理を行うため、管理業務の等について検討する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・適正な分収造林の管理を行うために必要な経費を計上
---------------------	---------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------